

# 岡山 HIV 診療ネットワーク 第 110 回研究会のご案内

世界的な統計によると、HIV感染者の20～30%もがHCVに共感染し、HBVに関しては地域差があるものの共感染は15%とされています。HIV感染症診療において、肝炎ウイルスとの重複感染は重要な問題で、特にHIV感染症はHCV感染症の進行を早めることに留意しなくてはなりません。今回は、ミニレクチャーとして、最新のHCV治療をテーマに選びました。また多彩な臨床症状で発症する急性HIV感染症の診断力は豊富な臨床経験に左右されます。この度、福山医療センターの貴重な症例を学ぶ機会を得ました。活発な質疑応答を楽しみにしています。多数の皆様の参加をお待ちしております！

## 記

日時：平成 24 年 7 月 24 日（火曜日） 午後 6:40～8:20

場所：川崎医科大学本館 8 階「レストラン楷の木」

〒701-0192 倉敷市松島 577 TEL086-462-1111

当番世話人：和田 秀穂（川崎医科大学血液内科学教授）

久保田哉絵（川崎医科大学附属病院看護部）

①6:40～7:00 報告

司会：久保田哉絵

「Ⅰ：平成 23(2011)年エイズ発生動向 –概要–」

「Ⅱ：HIV と HCV の重複感染について～最新の治療の手引きから」

和田秀穂/川崎医科大学血液内科

②7:00～7:30 事例検討

司会：徳永博俊

「インフルエンザ A の罹患を契機に AIDS 指標疾患(サイトメガロウイルス  
食道潰瘍)を認め、経過中に無菌性髄膜炎を発症した急性 HIV 感染症  
の一例」

坂田達朗先生/福山医療センター統括診療部長  
～休憩～

③7:40～8:20 ミニレクチャー

司会：和田秀穂

「新規抗 HCV 薬を睨んだこれからの C 型肝炎治療」

日野啓輔教授 /川崎医科大学肝胆膵内科学

主催：岡山 HIV 診療ネットワーク\*

◆入会ご希望の方は、入会費 1,000 円を受付時にお支払い下さいますようお願い致します。

次回のお知らせ：第 111 回研究会は平成 24 年 9 月 15 日(土)、岡山国際交流センターで特別講演の予定です。「乱用薬物と HIV 感染症の現状」をテーマに鋭意準備中です！

★★茶菓を準備しますが、数に限りがあります★★